

# 地域包括ケアシステム構築 へ向けた取組事例 ～熊本県上天草市の取組～

離島における在宅生活の基盤づくり

## ～自治体の概要～

# 熊本県上天草市湯島地区

### ●地域概況

平成16年3月31日に4町（大矢野町・松島町・姫戸町・龍ヶ岳町）が合併して誕生。

上天草市は、熊本県の西部、有明海と八代海が接する天草地域の玄関口に位置し、天草地域に浮かぶ大矢野島、天草上島、その他の島々から形成。

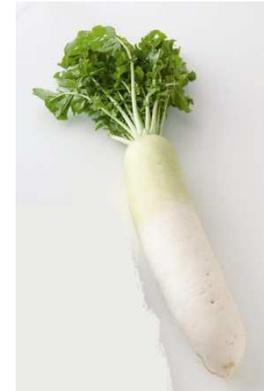
湯島には、周囲6.5kmの島で、良質な真珠や湯島大根などの特産品がある。

●人口 334人

### ●高齢化率

65歳以上 51.2%

75歳以上 32.0%



特産品の湯島大根



特産品の真珠

# 離島における在宅生活の基盤づくりに向けた取り組み (熊本県上天草市湯島地区)

離島の為、地理条件が悪く、在宅サービスの進んでいない湯島地区において、高齢者が住み慣れた家や地域で暮らし続ける為に、地域の実情に応じた介護福祉サービス、生活支援サービス等の在宅生活の基盤づくりに取り組む

## 【取組内容】

- (1) 住民検討会の実施
- (2) 全世帯住民ニーズ調査の実施
- (3) 緊急通報システム設置
- (4) ヘルパー養成講座実施
- (5) 地域づくり講演会
- (6) 旅館を改修し、つどい処よんなっせ（介護予防拠点）の整備
- (7) 「高齢者から子どもまで地域住民の集いの場づくり」事業の実施



〈離島のため、地理的条件が悪い〉



〈湯島地区〉

## 【事業成果】

- (1) 65歳以上の高齢単身世帯等の31世帯に緊急通報システムを設置し、安心して自宅で生活が可能になった。
- (2) 介護サービス事業所での従事を見込んで、湯島内で11名のヘルパーを養成し、事業所開設に至るまでの間は介護予防事業に活用。
- (3) 地域支援事業として、配食サービスを行う離島高齢者見守り事業が平成24年度より開始。
- (4) 地域住民主体の裁縫、茶話会、体操などを行う介護予防事業等の検討、運営を継続して行うとの方向性が図られた。

# ～取組の概要～ 平成23年度より開始

## 取組の経緯

(実施主体)

- 上天草市（上天草市社会福祉協議会に委託）

(背景・地域の課題)

- 湯島地区は高齢化率が50%と全国平均を遥かに上回っているが、離島のため地理的条件が悪く、介護サービス事業所がない。要介護者等は本島のサービス事業所を利用しているが、地元のヘルパーが1人しかいない現状。
- 島内で住み続けたいという住民の声を踏まえ、生活支援サービス等の在宅生活の基盤を整備する必要。

(取組のポイント)

- 住民主体（島内の婦人会、老人会、民生委員など）の検討委員会の実施
- 全島民への聞き取りによるアンケート調査による現状分析
- ホームヘルパー養成講座の実施によるマンパワーの確保
- 住民主体の介護予防と生活支援サービス等の基盤整備

## 取組に係る財源

- 熊本県中山間地域等24時間在宅サービス等提供体制モデルづくり事業補助金  
事業費：500千円（補助率：県10/10）

## 取組に必要なネットワーク・社会資源

- 社会福祉協議会
- 社会福祉協議会に登録された生活支援サービスを行う湯島サポートのメンバー
- ホームヘルパー

## 取組の効果

- 65歳以上の高齢単身世帯又は高齢のみの世帯から希望を募り、31世帯に、無償で相談ボタンと消防につながる緊急ボタンを備えた緊急通報システムを設置し、高齢世帯が安心して自宅で生活できるようになった。
- 介護サービス事業所での従事を見込んで、湯島内で11名のヘルパーを養成したが、事業所開設に至るまでの間は介護予防事業に活用。
- 平成24年度から地域支援事業として配食サービスを行う離島高齢者見守り事業を開始。
- 地域住民が主体となった裁縫、茶話会、体操など介護予防事業等の検討、運営を継続して実施する方向性が図られる。
- 民宿を改修し、介護予防事業を行う介護予防拠点を整備。

## 今後の展望

- 月4回を目処に高齢者を対象として閉じこもり予防の茶話会を実施。
- 対応が困難な高齢者に対しての個別事例検討会等を開催し、介護予防体制づくりを構築。
- 島民主体の事業を継続するため、社会福祉協議会とより連携した事業展開